

## 第1回 あいち商店街活性化プラン策定委員会における主な委員発言要旨

1 日 時 平成27年8月6日(木) 午前10時から正午まで

2 場 所 愛知県三の丸庁舎 8階 会議室801

### 【学識経験者委員】

- ・もう少し都市計画的というか、街づくり的、土地利用のところまで踏み込んだ形で、新しい商店街のドラスティックな改革を提案しなければ何も変わらないだろう。住宅を併設するなど全体の住民を増やすところまで考えるのかどうか。

### 【有識者委員】

- ・補助金をもらいに行く方も、何をしたいのか分からない部分もやはりあるので、どうフォローしていくか。
- ・商売というのは継続的に続けないと駄目であるから、絶えず新しいことを考えてやっていくということが大事。商店街に対してもそうだと思う。

### 【有識者委員】

- ・商店街の中で個店がどう売上を上げていくのか、個々の魅力ある店づくりをどう進めていくのかということが、非常に重要なポイントである。
- ・今後は、マスの支援から個々の個店の支援にどう移していくのかがポイントではないかと私自身は感じている。
- ・商店街が必要ということであれば、どういう商店街が必要でどこまでを支援するのか。商店街はそもそも支援が必要なのか、誰のための支援が必要なのかを整理する必要がある。
- ・補助金自体は国とか他の制度も非常に多くあるから、県にしかできない支援は何かというところをもう少し根本的に変えていくということが必要ではないか。

### 【有識者委員】

- ・都市構造そのものを変えていく必要があると国も考えており、地方の商店街の問題も、この都市構造の変化の中で検討を進める必要があるだろう。
- ・商店街が将来的にどのような役割を地域社会の中で担うのかということが、この会議の中核的課題となると思う。
- ・商店街、地域の商業のあり方を、商店街という枠の中だけでなく、新たな地域社会の構築という視点で考えていかなければいけない。
- ・地域の実態に対して最適化されたサービスを提供することが実現できれば、たとえ大型店より若干高くても、それは魅力のある地域の生活を維持するためのコストだと地域の方にご理解されて商店街は残っていくし、残していく必要があるということになる。ただ、個店の努力だけでは無理なところもあり、行政のブレのない持続的な支援が必要になる。
- ・柱3の「会議体」で、地域の中の商店街のあり方について検討を行い、ある種の提言を行うことは可能だろうし有意義であると思う。

- ・商店街が地区の中でどうあるのかというビジョンを作っていく、まさに未来デザインをしていくということをご支援いただくということも、カンフル剤的な、輸血的な支援と同様に行政支援として、非常に重要となる。

#### 【行政委員】

- ・商店街というところを地域資源や、「クールジャパン資源のショーケース」というような位置づけで、展開を図っていく可能性があるのではないかと。
- ・空き店舗対策の仲介役には、まちづくり会社が有効である。

#### 【行政委員】

- ・全体的な底上げ、マスの支援をやってきたが、なかなか現状を打開できないため多少踏み込んでいこうということでプランを考えていく必要がある。
- ・個店の問題は、支援機関と連携を強めていくことが必要である。

#### 【支援機関委員】

- ・活動の担い手不足への支援や商機能の強化への支援が必要である。
- ・多様な主体と連携した取組を行い、地域コミュニティの担い手として取り組んでいくことが重要である。
- ・高齢者に優しい、買い物弱者に対する対策もしっかりやっていく必要がある。
- ・市町村の関わりというのはかなりウェイトが高いのではないかと常々実際の現場に入って思っている。
- ・やる気のある商店街を支援していきたいと考えており、是非そういう観点で、施策の方向性も決めていただきたい。

#### 【支援機関委員】

- ・チャレンジしようとしている若い経営者はある程度いるので、商店街の空き店舗をいかにうまくマッチングさせて、魅力あるお店を商店街で作っていくということが非常に重要である。
- ・マーケティングサポートやコンサルティングサポートを充実させることも必要である。

#### 【支援機関委員】

- ・個々の店舗の活性化のための支援施策は不公平が無いよう、商店街だけで考えるのではなくて、県全体の商業振興策の中で支援施策を考えるべき。
- ・商店街を復活させて、地域として必要な商店街にしていくためにどうしたらいいのかという観点で考えていかなければいけないと思う。

#### 【支援機関委員】

- ・まずは商店街にある各店の個店としての商機能の強さが必要とされる。
- ・商圈となる消費者の居住地が商店街から離れたところに位置しているので、都市計画の面からも考え直す必要があるのかなと思う。
- ・地域の旧来の商業者と共存共栄を図り地域商業の活性化への貢献を促すよう、大型店等に対する意識付けについて行政当局から更に啓発していただけると有り難い。

#### 【支援機関委員】

- ・個店が抱える問題というのは本当に大きな問題である。後継者がいない、資金力もないということで店をたたんでしまう。個々の個店が集まって魅力あるチームを作ることが必要である。

#### 【学識経験者委員】

- ・より重要視されるのは、地域にとって役立つ商店街にしていくことである。その中で商店街としての支援もあり、個店としての支援もあるという再検討の位置づけ方も大切であろう。
- ・長期のビジョンを描いた中で、では5年先までに何ができるのかといった視点も、時間軸としては欠かせないと思う。